
曲目解説

●はソプラノ独唱、◎はテノール独唱

●歌劇「クセルクセス」より“オンブラ・マイ・フ”（ヘンデル 1685-1759）

1738年初演の歌劇の冒頭でペルシャ王クセルクセスが歌うアリア。

歌詞の内容はプラタナスの木陰への愛を歌うもの。

オペラは忘れられましたが、このアリアのみは“ヘンデルのラルゴ”として広く愛唱されています。本来はカストラート（高音の男声）のための曲ですが、今日では主にソプラノによって歌われます。

●カンツォーネ“もし貴方が私を愛してくれて”（ペルゴレージ 1710-1736）

ペルゴレージが作曲したと言われていますが不確かなようです。

☆ペルゴレージ：イタリアのオペラ作曲家。代表作は“奥様になった女中”。

宗教曲“スターバトマーテル”が有名です。

☆主にペルゴレージの作品をストラビンスキーが自由に編曲したバレエ組曲“プルチネラ”が有名ですね。

●アヴェマリア（マスカーニ 1863-1945）

1890年初演の歌劇「カヴァレリア・ルスチカーナ」の有名な間奏曲の旋律にマッソーニ（1833-1907）が歌詞を付けた曲。聖母マリアへの祈祷文です

☆マスカーニ：イタリアのオペラ作曲家。存命中はオペラ（15曲）で大成功しましたが、今残っているのはカヴァレリア・ルスチカーナ、友人フィリッツ程度。

●歌劇「ロミオとジュリエット」より“私は夢に生きたい”（グノー 1818-1893）

1867年初演の歌劇の第1幕で、まだロミオと出会っていないジュリエットが歌うワルツ。

☆グノー：フランスの作曲家。オペラは13曲。代表作はファウスト。

バッハの平均律クラヴィーア曲集第1巻の第1曲の前奏曲に旋律を付けた「グノーのアヴェマリア」が最も有名です。

☆シェイクスピアの戯曲“ロミオとジュリエット”を題材とした曲としてはチャイコフスキーの幻想序曲、プロコフィエフのバレエ曲が際立って有名ですが、オペラもこのグノーの他数人の作曲家が手掛けています。

◎歌劇「カルメン」より“花の歌”（ビゼー 1838-1875）

1875年初演の歌劇の第2幕で、闘牛士のドン・ホセがカルメンと初めて出会ったときに受け取った花を取り出し、改めて愛を歌う。

☆ビゼー：フランスの作曲家。カルメン以外のオペラはあまり成功していません。劇音楽“アルルの女”は有名ですね。

●歌劇「夢遊病の女」より“ああ、信じられないわ、こんなに早く花が萎れてしまうなんて”（ベッリーニ 1801-1835）

1831年初演の歌劇の第2幕で女主人公のアミーナ（実は自分では気が付いていませ

んが、夢遊病にかかっています) が 恋人から贈られた花束を手にして歌うアリア。

☆ベッリーニ：イタリアのオペラ作曲家。34年の短い生涯の中で、10曲のオペラを作曲。代表作は夢遊病の女、清教徒、ノルマ。

【休憩】

- かやの木山の (作詞：北原白秋 1885-1942 作曲：山田耕筰 1886-1965)
1922年発表。歌詞は“秋の田舎の山の家で、囲炉裏端を囲んで静かにかやの実を炒るお婆さん”といった内容です。
- からたちの花 (作詞：北原白秋 作曲：山田耕筰)
山田耕筰は幼い頃養子に出され、活版工場で勤労しながら夜学で学んでおり、「工場でつらい目に遭うと、からたちの垣根まで逃げ出して泣いた」と述懐しています。この思い出を北原白秋が詩にしたためたとのこと。1925年発表。
- ◎荒城の月 (作詞：土井晩翠 1871-1952 作曲：瀧廉太郎 1879-1903)
1901年に旧制中学校唱歌の懸賞の応募作品として土井晩翠の詩に、瀧廉太郎が曲をつけた作品。原曲は無伴奏の歌曲で『中学唱歌集』に収められた。
- 初恋 (作詞：石川啄木 1886-1912 作曲：越谷達之助 1909-1982)
啄木の処女歌集『一握の砂』(1910年刊行)に収められている歌1首に、越谷達之助が1938年に曲を付けた。
- 歌劇「ラ・ロンディネ (つばめ)」より “ドレッタの素晴らしい夢”
(プッチーニ 1858-1924)
1917年初演の歌劇の第1幕で、裕福な女主人公マグダが、詩人の作品の中の登場人物である“金ではなく愛を選んだドレッタ”に託して自らの愛へのあこがれを歌うアリア。
☆プッチーニ：ヴェルディ後のイタリアオペラ界最大の作曲家。オペラは12曲。
代表作はトスカ、蝶々夫人、ラ・ボエーム
- ◎歌劇「トスカ」より “星は光りぬ” (プッチーニ)
1900年に初演された歌劇の第3幕で主人公の一人で監獄に入れられ銃殺を待っているカバラドッシが明け方の星を見て歌うアリア。
- ★歌劇「椿姫」より ” ああ、そは彼の人か〜花から花へ” (ヴェルディ 1813-1901)
1853年初演の歌劇の第1幕でヒロインのヴィオレッタ (椿姫) が歌うアリア。田舎のお金持ちの青年アルフレードから受けた誠実な愛の告白を思い出しています。
ステージでソプラノが歌い、ステージ裏の見えないところでテノールが歌います。
☆ヴェルディ：イタリアオペラ界、最大の作曲家。オペラは28曲。代表作はアイダ、椿姫、オテロ、マクベス、リゴレットなど多数。
サッカーチームの名前、東京ヴェルディのヴェルディはポルトガル語で緑の意味。作曲家ヴェルディとは無関係なようです。